

中原区において 感染症発生時対応ブラインド訓練を実施しました！

関東労災病院・中原区役所保健福祉センター・健康安全研究所・健康福祉局保健所が連携し、患者が発生時の対応に関する**ブラインド訓練***を実施しました！

*ブラインド訓練とは？

疾患名や患者想定等のシナリオを、模擬患者役以外の関係者に一切明らかにせず実施する訓練です。

日時：平成30年1月24日（水） 午後12時45分から午後4時まで

場所：関東労災病院（川崎市中原区木月住吉町1-1）

参加者：関東労災病院・中原区役所保健福祉センター・健康安全研究所・健康福祉局保健所

【訓練内容】患者発生の探知から患者への適切な医療の提供及びそのまん延の防止までの一連の流れを、実際の発生時に即した「ブラインド訓練」の形式で行うことで、参加機関の職員がそれぞれの役割を再確認し、更なる連携強化と職員の知識・技術及び危機管理意識の向上を目指しました。昨年度（宮前区）に続き、2回目のブラインド訓練の実施となります。また、後日、参加機関で訓練の振り返りと課題等の抽出及び検証を行い、健康危機管理体制の強化を図ります。



訓練の結果：模擬患者は、ドバイやイタリアに渡航歴があり、発熱や呼吸器症状等を呈しており、医療機関では当初、MERS（中東呼吸器症候群）を疑い、さらにクリミア・コンゴ出血熱や麻しんの可能性も挙げていました。保健福祉センター職員が、医師を通して、症状や所見、接触歴等を聞き取る中で、最終的に麻しんの届出がされましたが、後から新たな情報を探知するなど、情報収集及び共有の難しさが浮き彫りになりました。なお、今回の訓練については、来月1日に参加関係機関で課題共有会議を開催する予定です。

【問合せ先】

川崎市健康福祉局保健所感染症対策課	小 泉	電話：044（200）2446
関東労災病院 臨床感染症部・感染管理室	丹 羽・藤 井	電話：044（411）3131